

## 水道スマートメーターによる自動検針の開始について

水道スマートメーターの自動検針を、知波田地区・入出地区・市営住宅で開始します。自動検針によって収集したデータは、市、大学、企業が連携した共同研究により、水質管理や施設更新など水道事業への活用を予定しています。

### ◆経緯

湖西市では、2020年11月5日に水道スマートメーターや各種センサー等のビッグデータを収集および解析して事業へ活用するため、国立大学法人豊橋技術科学大学と株式会社東京設計事務所、中部電力株式会社の産学官が連携した共同研究の基本合意書を締結しており、2023年度末までに研究成果を取りまとめていく予定です。

### ◆実施概要

今回、共同研究を開始するにあたり、研究パイロットエリアである湖西市知波田地区・入出地区において水道スマートメーターの自動検針を開始します。

同時に、市独自で市営住宅にも水道スマートメーターを設置します。知波田・入出地区・市営住宅において、水道利用者へのきめ細かな情報提供や、電子申請・電子決済などと連携し、DX（デジタル・トランスフォーメーション）によるサービス向上を推進します。

### ◆実施内容

実施場所	戸数	設置期間	開始時期
知波田地区・入出地区	1,890戸 <sup>※1</sup>	2021年9月～	2021年12月1日
市営住宅	320戸 <sup>※2</sup>		2021年11月1日

※1 知波田地区（900戸）に導入した後、入出地区へ導入する予定

※2 2021年度は、川尻住宅・五田住宅・住吉東住宅（一部）で開始し、順次、他の市営住宅にもスマートメーターを設置する予定

### ◆自動検針とは

これまで「人」が現地で検針することにより把握していた水の使用水量や漏水情報を、水道スマートメーターと中部電力グループの電力通信網を活用した「通信技術」により、IoTシステムを構築しリアルタイムでデータを取得できるようになります。

（別紙あり）

#### 《メディアの方へ》

- 取材をお願いします。  
 事前告知をお願いします。  
 情報提供をします。

#### 《発表種別》

- 記者会見発表資料  
 記者会見情報提供資料  
 随時

#### 《問い合わせ先》

所属名 水道課  
 連絡先 053-576-4539  
 担当者 原田・尾崎



2021年8月24日  
(大) 豊橋技術科学大学  
(株) 東京設計事務所  
中部電力(株)  
静岡県湖西市

## 水道スマートメーターによる自動検針の開始について

静岡県湖西市では、2020年11月5日に水道スマートメーターや各種センサー等のビッグデータを収集および解析して事業へ活用するため、国立大学法人豊橋技術科学大学と株式会社東京設計事務所、中部電力株式会社の産学官が連携した共同研究の基本合意書を締結しており、2023年度末までに研究成果を取りまとめていく予定であります。

今回、共同研究を開始するにあたり、研究パイロットエリアである湖西市知波田地区・入出地区において水道スマートメーターの自動検針を開始します。

### ◆ 実施概要

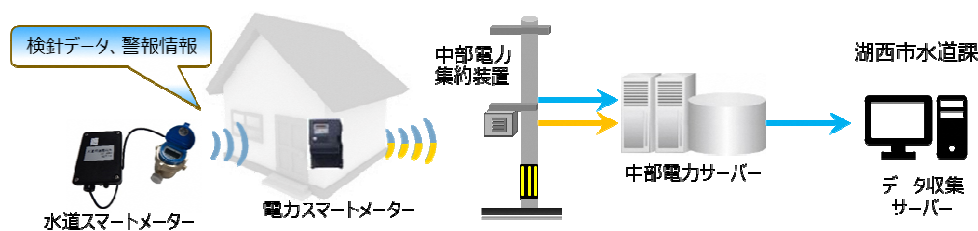
実施場所	戸数	設置期間	開始時期
知波田地区・入出地区	1,890戸※	2021年9月～	2021年12月1日

※ 知波田地区(900戸)に導入した後、入出地区へ導入する予定

### ◆ 自動検針

これまで「人」が現地で検針することにより把握していた水の使用水量や漏水情報を、水道スマートメーターと中部電力グループの電力通信網を活用した「通信技術」により、IoTシステムを構築しリアルタイムでデータを取得できるようになります。

#### ➤ 自動検針イメージ図



### ◆ 参考資料：「水道スマートメーターの取り組みについて」

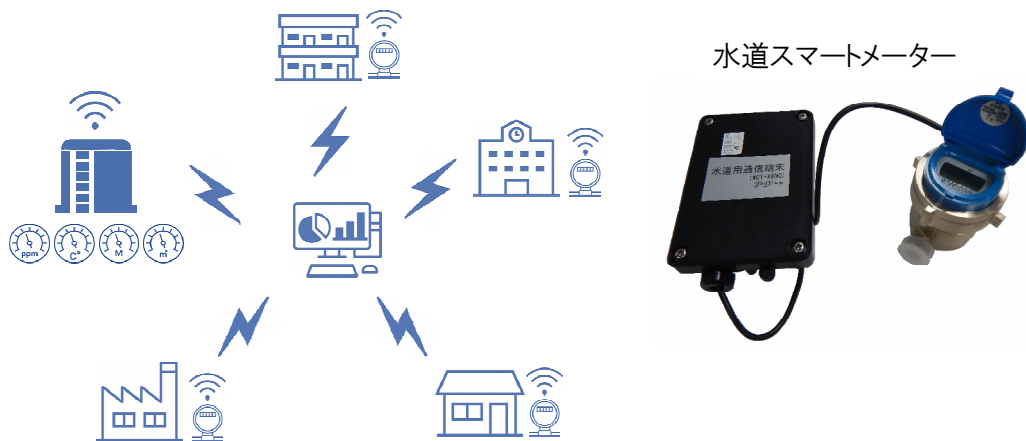
#### 【本件に関する問い合わせ】

- 国立大学法人 豊橋技術科学大学 研究支援課 共同研究担当：小早川  
TEL：0532-44-6983 FAX：0532-44-6984 E-mail：chizai@office.tut.ac.jp
- 株式会社 東京設計事務所 水道計画担当：馬場  
TEL：03-3580-2757 FAX：03-3580-2793 E-mail：mio\_nagai@tokyoengicon.co.jp
- 中部電力株式会社 総務・広報・地域共生本部 報道グループ 担当：玉置  
TEL：052-961-3582 FAX：052-957-1352
- 静岡県湖西市環境部水道課 工務管理係 担当：原田、尾崎  
TEL：053-576-4539 FAX：053-576-1139 E-mail：koumukanri@city.kosai.lg.jp

## 水道スマートメーターの取り組みについて

### ① データ活用

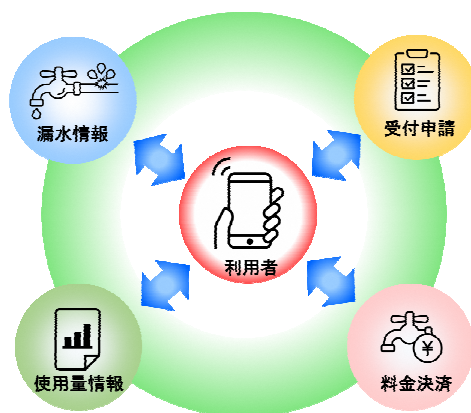
水道スマートメーターから得られる使用水量データなどのビッグデータや様々なデータをリアルタイムに取得することで、水質管理や施設更新などの維持管理に活用し、安全・安定した水の供給に役立てます※1。



※1 (大)豊橋技術科学大学、(株)東京設計事務所、中部電力(株)、湖西市は、水道スマートメーターから得られたデータの取得・分析などを行い、水質管理やアセットマネジメントの高度化などの産学官共同研究を行っています。

### ② サービス向上

水道スマートメーターやSMSなどを活用し、利用者へのきめ細かな情報提供や、電子申請・電子決済などと連携し、DX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進して、ゆとりあるライフスタイルを提供します。※2



※2 川尻住宅・五田住宅・住吉東住宅(一部)で開始し、順次、他の市営住宅にも水道スマートメーターを設置する予定です。